

令和2年9月定例

伊達市教育委員会 会議録

令和2年9月17日開催

令和2年9月定例伊達市教育委員会会議録

1. 開催日時 令和2年9月17日（木）13時30分～
2. 開催場所 伊達市役所東棟3階 庁議室
3. 出席者 教育長 菅野 善昌
1番 高野 保夫 委員（教育長職務代理者）
2番 菅野 千恵子 委員
3番 三品 清重郎 委員
4番 関根 勝富 委員
4. 欠席委員 なし
5. 説明のため出席した者
教育部長 田中 清美
教育総務課長
（兼学校給食センター所長） 土田 一紀
教育総務課主幹（教育施設担当） 佐藤 真
生涯学習課長 森林 敏昭
学校教育課長 熊澤 正人
こども部長 橘内 重康
こども支援課長 寺田 和也
こども育成課長 桃井 秀孝
6. 本委員会書記
教育総務課総務企画係長 富田 昭子
教育総務課総務企画係主事 大橋 勝

7. 日程1

○菅野教育長 令和2年9月定例伊達市教育委員会会議を開会します。本日は全員出席しているため、会議が成立しました。開会時刻は13時30分です。

8. 日程2

○菅野教育長

会期決定についてお諮りします。会期は、本日17日にしたいと思います。異

議ありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

○菅野教育長 異議なしと認め、会期は本日17日と決定します

9. 日程3

○菅野教育長 議事録署名の指名に移ります。本日の議事録署名は、1番高野委員と2番菅野委員にお願いします。また、8月定例会の会議録は三品委員と関根委員に署名いただいていることを、報告します。

10. 日程4

○菅野教育長 本日の会議の進め方について、土田教育総務課長から説明願います。

○土田教育総務課長 議事は今回ありません。2点協議を行います。

1 第2期 伊達市教育振興基本計画について

2 令和2年度 伊達市教育委員会教育行政経営方針について

11. 日程5

○菅野教育長 傍聴希望の方はいますか。

○冨田総務企画係長 いません。

12. 日程6 議事なし

13. 日程7 協議

○菅野教育長 議事はありませんので日程7 協議に移ります。

第2期伊達市教育振興基本計画について教育総務課長から説明願います。

○土田教育総務課長 資料により説明

○菅野教育長 8月定例会では内容について議論ができなかったため、今回は内容について意見をいただきたい。まずは教育振興計画の位置づけについて事務局から説明願います。

○土田教育総務課長 教育振興基本計画は、伊達市総合計画後期計画策定を受け、検討をしていることから遅れている。本市が展開する施策の基本として位

置付けられる。

○菅野教育長 国の教育振興基本計画、県の総合教育計画、市の総合計画や、伊達な地域創生戦略を基に伊達市教育大綱、市の教育振興計画を作成している。

目次を見ると教育基本振興計画の柱立てが分かる。

第1章 計画の策定にあたって

第2章 計画策定の背景

第3章 伊達市の教育がめざす姿

第4章 施策の展開

第5章 計画推進のために

まずは第1章について委員の意見をいただきたい。

○高野委員 「様々な問題が顕在しています」とあるが「顕在化しています」や「生じています」など表現の変更を検討してほしい。

西暦で書かれている部分と、元号で書かれている部分があり、統一をするべきと感じた。

○土田教育総務課長 表現、年号の統一は内部で検討する。

○菅野教育長 他に委員から意見はありますか。

次に第2章計画策定の背景について委員の意見をいただきたい。

○高野委員 日本全体の現状について記述はあるが、本市の現状について記述がない。本市をどのように認識していくのかという点が触れられるべきである。

○菅野教育長 本市の現状も含め、事業の振り返りを行っているが、事務局から説明願います。

○土田教育総務課長 国の計画を参考に載せた。本市の現状をどの部分に記載するのか検討する。

○高野委員 先に総論、その後各論が書かれているため、本市の課題を記述する必要があると感じた。

学校司書について記載があり、「本を親しむ環境づくりを整えることができました」とあるが完了したと捉えることも可能である。どのように捉えれば良いのか。

○熊澤学校教育課長 以前は全く学校司書が配置されていなかったが、現在7名配置され、大いに評価できる。図書館環境の改善も進み、梁川小学校が全国的な表彰を受けるまでになった。ある程度評価できるということで、「整えることができました」という表現にした。しかし今後より一層の充実が必要であると考えている。

○菅野教育長 次に第3章伊達市の教育がめざす姿について委員の意見をいただきたい。

意見がなければ次に第4章施策の展開について「施策1子どもの健やかな育ちと子育て支援の充実」の委員の意見をいただきたい。

○高野委員 伊達市教育委員会行政経営方針と見比べ考えたが、施策1の「子どもの健やかな育ちと子育て支援の充実」について異論はない。ハード面や制度の記述については充実している。しかし健やかな育ちのための、ソフト面の記述が明確に打ち出せていないと感じる。「幼児期にふさわしい豊かな経験を通した3歳からの心の義務教育の充実を進めます」とあるが抽象的な表現になっているため具体的にはどのような政策を行うのか。

○桃井こども育成課長 幼児教育から先生や友達と関わることで様々な経験をし、成長していくということ。

○高野委員 幼稚園管理運営事務、幼稚園預かり保育事業、私立幼稚園運営費負担金事務を整備することで、どのような子ども達が育つのか。ハード面の記述に対して、ソフト面の記述もあると良いのではと思う。

○橋内こども部長 群れ遊び、他世代の交流が現れるような具体的表現を検討したい。

○高野委員 施策の方針1で「心の義務教育」について、触れられてはいるが基本事業の中で具体的な記述があると分かりやすいと感じた。

○菅野教育長 次に「施策2生きる力を育む学校教育の充実」について委員から意見をいただきたい。

○高野委員 主要事業4の学校図書館機能生活化事業に、家で読書を促すため

「家読」を追加し事業を充実させてほしい。学校、家庭、地域で読書への関心を高めていきたい。活字に親しみを持つことは子ども達の将来に大きな影響力を持つと考える。保護者と家庭の中で読書について考えていくことを大切にしたい。

○熊澤学校教育課長 読書デーで家庭での読書を推進し、さらに学校、家庭、市民が協力し、子ども達の読書を促す内容、表現を検討していきたい。

○高野委員 学校給食センターの記述はとても良い印象を受けた。

○菅野教育長 次に「施策3心を育む生涯学習の推進」について委員の意見をいただきたい。

○高野委員 総合型地域スポーツクラブ設立は具体的にはどのような内容か確認したい。

○森林生涯学習課長 市ではスポーツコーディネーターを昨年度から採用し、総合型地域スポーツクラブの設立を目指している。現在、組織案を検討しており、今年度中に作成したい。

○高野委員 伊達市スポーツ振興公社の事業内容を充実させていくということで理解して良いのか。総合型地域スポーツクラブへの思いを強調した表現の方が良いのではないかと感じた。

○田中教育部長 市民の自主的・自発的活動の延長上に総合型スポーツクラブがあるため、記述を見直したい。スポーツ振興公社の発展を目的としたものではなく、新たに総合型地域スポーツクラブを設立する。文部科学省も中学校の部活動は、スポーツクラブに任せるなどのモデル事業を行なうこととしている。また、サッカーのスポーツ少年団は伊達と保原にしかなく、他の地域はそこまで通う必要がある。そのため総合型地域スポーツクラブを媒体とし、総合運動公園を拠点とするなど、受け皿としての役割や、様々な世代の人がスポーツに親しめるように表現を検討していきたい。

○高野委員 伊達中学校のサッカー部に属している子ども達は、桑折町の子ども達と一緒に実施をしているという現状もある

○菅野委員 平成29年まではスポーツ振興公社の支援という内容であったが、変更され総合型地域スポーツクラブの設立支援となっている。具体的に表現することで分かりやすくなると感じた。

○田中教育部長 総合型地域スポーツクラブはスポーツ振興公社での設立を検討している。

○高野委員 スポーツ振興公社が動かなければ進展はないということか。

○田中教育部長 市も設立にむけ関与しながら進めてきた。今年度中にもクラブ概要を提示したい。

○菅野教育長 中学部活動の現状や地域におけるスポーツの現状を考えると、総合型地域スポーツクラブは必要であると感じる。具体的にどのように関わるのかは検討が必要になる。組織編成や運営の仕方を検討し、実現していきたいと思う。

次に「施策4文化財の保護と芸術文化の振興」について委員の意見をいただきたい。

なければ次に5章「計画推進のために」について委員の意見をいただきたい。

○高野委員 文末表現を「図ります」「目指します」「努力します」から「行います」「進めます」「取り組みます」に変更すると話があった。追加で配布された資料も語尾を統一した方が良いと感じた。

○三品委員 PDCAサイクルについて記述されているが、いつまでにという期限の記述がない。5年間の計画で5年以内にどこまで進展したかということが事業評価の対象になっている。期限があることでPDCAサイクルを何度も行う事ができるため、時間軸を載せるべきではないかと思う。

○田中教育部長 第2次総合計画に基づいて、基本計画を策定している。総合計画には事業の進捗を把握するための指標が入っている。同じように指標を設定するかは、検討する。教育委員会では事務事業点検評価委員会を毎年開催しており、どのような表記をするか検討をする。

○高野委員 点検評価委員会の評価の内容は、前年度の事業の取り組み評価。その評価の結果をどのように次年度に反映させているのか。次のサイクルにつ

なげていくことが大切である。

○田中教育部長 令和元年度の事務事業評価の報告書が9月末に提出される予定だが、令和2年度は既に半年が経過しているため、評価内容が具体的に反映されるのは令和3年度の予算措置となる。このことをどう表現するかは、検討する。

○菅野委員 「スポーツ・レクリエーション・文化活動」を「スポーツ・レクリエーション、文化活動」に変更したほうが良いと感じた。

○菅野教育長 全体を通して委員から意見をいただきたい。

○土田教育総務課長 語尾を統一する点に関して、主要事業のところのみ統一する。目的、取り組み方針については、既存の標記のままにする。

○菅野教育長 次に令和2年度 伊達市教育委員会教育行政経営方針について教育総務課長から説明願います。

○土田教育総務課長 教育委員会教育行政経営方針は教育要覧の一部となっている。本来は教育振興基本計画を策定後、行政経営方針が策定となるが遅れているため、同時進行としている。

教育振興基本計画は平成31年度から令和5年度まで記載しているが、教育委員会教育行政経営方針は令和2年度の事業について記載している。

資料により説明

○菅野教育長 委員から質問、意見等をいただきたい。

○高野委員 主要事業は全て予算の裏付けがあると考えて良いのか。

○土田教育総務課長 当初予算に計上されている。

○田中教育部長 「開かれた学校づくりと教育環境の充実」の主要事業1、学校支援地域連携推進事業の掛田小学校、伊達小学校のスクールコミュニティの開設準備とあるが、具体的な令和2年度中の予算はない。もう一度整理を行う。

○高野委員 通常であれば主要事業には予算が明記されると思う。

○田中教育部長 今後5年間の中で予算化するものまで含め、記載してしまつた。再度点検する。

○菅野教育長 他に委員から意見はありますか。

○高野委員 図書館運営事業に、昔話の発表の場を設けることを入れてほしい。先日、山形南陽市で昔話を聞いてきたが、本市にも昔話があり、語り手もいる。その際、発表の場を設けることで語り手の話術も向上し、市民も刺激される。また事業に付け加えるためには予算化しなければ具体化しない。図書館運営事業の中に昔話の発表を設けることも明記していただき、予算化する方向で検討してもらいたい。

○森林生涯学習課長 昔話の活動を今後調査し、検討したい。

○菅野教育長 図書館協議会の構成員の中に読み聞かせの団体も入っている。昔話の話題も上がってくる。昔話も生涯学習の一環として、積極的に子ども達に関われる場を今後検討していきたい。

○田中教育部長 いただいた意見は次年度に予算化できるよう検討していく。

○高野委員 記載がないものは予算化されないのか。

○田中教育部長 当初予算で計上されている事業について記載している。

○高野委員 各地域の図書館読書ボランティアの中に昔話を語る人たちも含み、広い意味で捉えれば良いと感じる。

○田中教育部長 具体的な施策として予算化していないものは、掲載出来ない。

○高野委員 臨機応変に対応するために各地域の図書館読書ボランティアを広い意味で捉えれば良いと思う。

○菅野教育長 生涯学習の一環として「学習機会の充実と成果の活用」という事業があるため、昔話を話せる市民の方々に協力してもらい学習機会を増加させていきたいと感じる。

○三品委員 策定されている事業の中で、これから重要と言われている英語教育やICT教育についての記載がない。今後率先的に他地域に先駆け、事業を立ち上げていくべきだと感じる。是非検討してほしい。

○田中教育部長 いただいた意見は来年度の重点事業として検討している。ICT教育の充実や来年はICT支援員を4校に1人の配置をめざすなど、現在重点事業の中で行っている。

○三品委員 音楽であれば「きらめき事業」などの発表の場がある。ICT教育であればロボットコンテストなどがあることで、子ども達の学ぶ意欲も高まると思う。

○菅野教育長 その他委員から意見はありますか。

○関根委員 スポーツクラブについての記述は、スポーツ人口の増加を図るためだけでなく、先ほどあった子ども達の受け皿になるなど、分かりやすく具体的に記述した方が良いと感じた。

○田中教育部長 中学校の部活動も含めて検討している。この部分は、現時点では組織の立ち上げを支援するというにとどまるため、設立時点で記述を検討したい。

○橋内こども部長 「伏黒認定こども園（仮称）について、土地及び事業者の選定を目指します」と記載したが予算化していないため、表現を検討したい。

○菅野教育長 いただいた意見を参考にしながら検討していく。

14. 日程8 報告

○菅野教育長 日程8の報告に移ります。

令和2年度 9月定例教育委員会会議 教育長報告資料

1 福島県市町村教育員会連絡協議会関連

(1) 令和2年度教育委員・教育長研修会

※ 8/27(木) 予定は、新型感染症予防対策のため中止

※ 資料のみ配付「ICT教育の推進について」

- (2) 令和2年度全国市町村教育委員会連協議会
 - ※ 功労者表彰・・・太田康一氏（前伊達市教育委員）
- (3) 令和3年度文教施策と予算に関する要望書

2 学校の適正規模・適正配置事業

- (1) 大石小学校の掛田小学校への統合に向けて
 - ① 霊山地域小中学校適正規模・適正配置に係る説明会
令和2年8月27日（木）各小中学校長・PTA会長
 - ② 令和2年9月議会・議案提出
伊達市立学校設置条例の一部を改正する条例について

3 2学期がスタートして〔こども育成課、学校教育課〕

○**桃井こども育成課長** 資料により説明

○**熊澤学校教育課長** 資料により説明

- (1) 幼児の保育、教育状況
- (2) 児童・生徒の学習、生活状況
- (3) コロナ禍における学校行事等への取り組み状況

4 伊達小学校改築事業の概要〔教育総務課〕

○**佐藤教育総務課主幹** 資料により説明

5 各種行事等への参加と協力（豊かな人間性・社会性、健やかな身体、地域への誇りと愛着）

- (1) 県中学校体育大会駅伝競走大会県北地区予選会
男子第6位：桃陵中学校（県大会出場）
- (2) 第42回少年の主張福島県大会発表者
伊達中学校：高野莉歩（3年）

6 その他

- (1) 9月教育長の部屋
- (2) 新聞報道・学校だより等から
- (3) その他

○**菅野教育長** 委員から意見はありますか。

○**菅野委員** 不登校になる子ども達が増加しているとあったが、どのような対

処をしているのか。

○熊澤学校教育課長 コロナ禍ということで特別なことをしているわけではない。家庭訪問や保護者との面談、スクールカウンセラーとの連携など、今まで行ってきたことを丁寧に実施している。

○菅野教育長 8月末に桃陵中現職教諭が病気のため亡くなった。担当学年の子ども達にはカウンセリングを実施した。今のところ子ども達に影響は出ていない。

次に各委員から報告願います。

○菅野委員 学校教育支援事業の花育コースを4～5年前から手伝っており先日は梁川小学校で実施した。学校教育支援事業は東日本大震災をきっかけに始まり、国が予算化し、事業を実施している。主催はJAふくしまで希望する学校に無料で花を用意し、生花を児童に楽しんでもらっている。学校によって参加者が異なるが、梁川小学校は6年生、伊達小学校は5年生、小規模校では全校生徒が参加した。普段とは異なるいきいきとした子ども達の顔がみられ、全員楽しく生花ができた。やり方を教えながら行ったため、完成できなかった子どもはいない。昨年度1校を残して全校参加が実現した。今年はコロナウイルスの影響により授業時間数が確保できないため、1校で中止。それ以外の学校は、この90分の活動に参加した。このような状況にありながらも、心の教育に力を入れていることは素晴らしいと感じる。昨年度の民友新聞の子どもニュースに花育コース紹介された。

○熊澤学校教育課長 花育コースの参加希望聴取の時期などについて教えて貰えれば。資料があればほしい。

○菅野委員 県の事業をJAふくしまが主体となり実施している。希望は、秋までに申し込む。実施した学校は、その際に次年度の申し込みをすることも可能。もし、教育委員会からお知らせがあれば、各学校も実施しやすいと思う。

○菅野教育長 事前に把握できていれば、ケーブルテレビ等に取材をしてもらう事ができる。教育委員会の方にも情報提供してほしい。

○菅野委員 JAふくしまに教育委員会へ案内をするよう伝える。

○高野委員 前回、学力の問題を議論したが、会議終了後に議論をしたい。

○菅野教育長 他に委員から報告はありますか
次に各課からの報告願います。

○森林生涯学習課長 10月10日から梁川美術館において葉祥明の展示会を実施する。来場者は4000人を見込んでいる。

○菅野教育長 次に予定確認に移ります。

○土田教育総務課長 資料により説明

○菅野教育長 次回の日程について事務局から説明願います。

○土田教育総務課長 次回の定例教育委員会会議
日時 令和2年10月14日(水)13時30分～
会場 庁議室

○菅野教育長 本日の9月定例教育委員会は、15時51分で終了します。

15. 日程 9 閉 会 15時51分

上記記録の正確なことを認め、ここに署名する。

令和2年9月17日

議事録署名人

1 番委員

2 番委員

議事録調製者 教育総務課総務企画係主事 大橋 勝